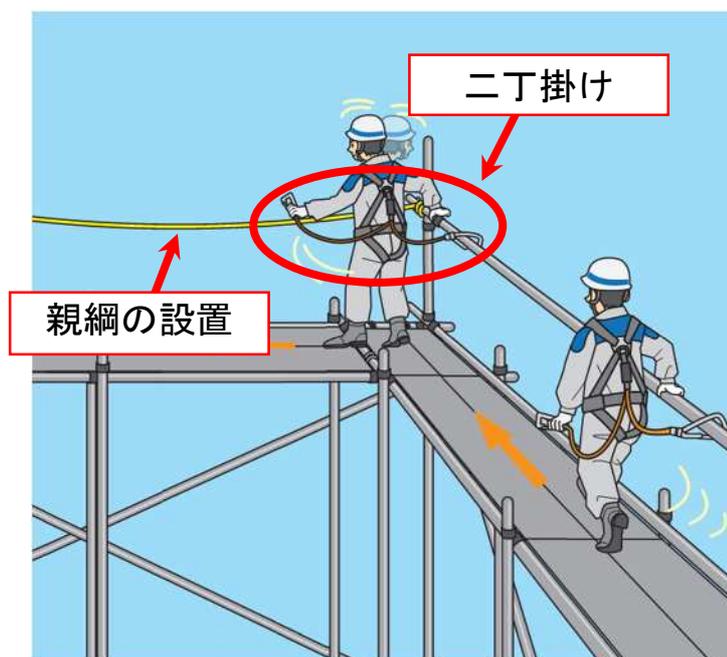


## 川内原子力発電所 2号機における請負会社作業員の負傷に対する対策

- 1 2 m以上の仮設足場においては、作業員が墜落制止用器具を繋いでいない状態とならないよう、以下の取り組みを実施します。
  - 二丁掛けにより、高所を移動する際に2つのフックを使い、必ず片方のフックを掛けたまま、もう片方のフックを移動先の親綱等に掛けることで、墜落制止用器具を繋いでいない状態とならないようにします。
  - 親綱とは、墜落制止用器具のフックを掛けるために設置するロープのことです。今回のように足場解体に伴い作業環境が変化し、フックを掛ける箇所が無くなった場合でも親綱を設置する等の対策を実施します。

### 【二丁掛け及び親綱による対策のイメージ】



- 2 作業の進捗・天候・近傍作業等で変化する危険要因を予測した危険予知活動を実施するとともに、責任者等は以下の取り組みを実施します。
  - 特に重要な作業項目である「再確認ポイント」をあらかじめ設定し、作業員全員に周知します。なお、実際の作業において再確認ポイントとなれば、作業を一旦停止させ、危険要因を再確認させるミーティングを行い、現場に合わせた災害発生防止対策を実施します。
  - 危険予知活動で抽出された危険要因に対して、作業員全員が理解し行動している事を、現場での問い掛けにより確認します。更に、繰り返し実施することで定着させます。